

巻 頭 言

会長2期目に向けて

会長 湊 元 志



この度、令和6年6月8日に行われた第142回秋田市医師会定時社員総会で、会長に再選いただきました。どうぞよろしくお願いいたします。1期目の

1年目は、まだ新型コロナウイルスの流行がピークとなった第7波、8波の最中でした。もちろんそれまでと同様に、新型コロナウイルスワクチンの集団接種、お盆や年末年始の臨時の検査外来などにも積極的に協力してきました。ところが、昨年の5月8日から新型コロナウイルスの感染法上の扱いが、それまでの2類から5類へと移行しました。これにより、感染者の全数把握がなくなり、定点医療機関による報告のみとなりました。それまでは、連日多くの検査を行い、検査結果が戻ってくるとほとんどが陽性で、それをまた患者さんに連絡し、同時に保健所にも連絡する、という作業は本当に煩雑で手間のかかるものでした。それに加えて、自宅療養者がピークになった時は、保健所からの依頼で自宅療養者の薬の手配を私も含めた7名で行ってきました。それもまた大変手間のかかる作業でした。5類移行によってこれらから解放されたのは、肉体的精神的にとっても楽になりました。

そういった理由で、2年目ははるかに落ち

着いた環境で、職務に取り込むことができました。コロナ禍で中止されてきた講演会をはじめとする様々な行事が軒並み再開されたために、肉体的にはとても忙しくなり、会長職というのは、やはりこんなに大変なのだ実感させられました。新型コロナが5類移行となってからも、令和5年の8～9月をピークとする第9波、令和6年の2月をピークとする第10波と、流行は続いていましたので、感染対策には、非常に気を使ったこともあり、幸いそれらの行事に関連するクラスターの発生などは起きませんでした。令和2年4月に国内に出された緊急事態宣言以降、不要不急の外出を控え、マスクの使用、手洗い、消毒などが励行されました。季節的に流行する子どもの感染症というのは、だいたい決まっているのですが、普段なら流行るものが、ほとんどなくなりました。日本人はまじめなので、外出するとほぼ100%の人がマスクをし、公共の場でマスクをしていないと注意され、飛行機も降ろされた、などというニュースもありました。考えてみると、これだけのことで日々の感染症がこれほどなくなる、ということに驚き、いい勉強になったと思います。しかし、最近では外を歩いてもマスクをしている人の方が圧倒的に少なく（実は私もしていませんが）、これから新型コロナウイルスが、決まって流行する夏を迎えます。現にこ

の原稿を書いている6月中旬でも、6週連続で定点報告は増加していて、今夏に向けた流行が心配されます。

新型コロナの5類移行時は、しきりに「医師の応召義務」という言葉が聞かれました。医師の応召義務とは、医師法及び歯科医師法で定められた義務であり、診療行為を求められた場合には、正当な理由がなければこれを拒んではいけないというものです。応召義務は公法上の義務であり、患者を保護することがその趣旨になります。要は、5類移行後は、発熱患者であっても対応してください、インフルエンザなどの検査をしているところは、コロナの検査もしてください、ということだったのだと思います。最近ではほとんど聞かなくなった言葉なので、検査医療機関も増えて、対応は問題なくできているのだと思っています。

先日の第142回定時総会の報告では、令和5年度の一般会計は、ほぼ5類移行後であったために、コロナ関連の補助金がなくなり、一般会計は、令和4年度と比べると、かなり減収となりました。その翌週には、県の定例代議員会に出席しましたが、県医師会の会計も同様の傾向にあり、その額は大きく、いかにコロナ対策として多くの国家予算が使われてきたか、ということがわかりました。誤解のないように、県医師会や、市医師会に入った予算は、それ相応の感染対策やワクチン事業に使われたので、医師会が潤ったわけでは決していない、ということを付け加えさせていただきます。

医師会事業の中で、1番大きな影響を受け

たのが、訪問看護ステーション事業です。考えてみれば、あれだけ多くの感染者数があり、訪問回数やケアプラン作成数などが落ち込むのは当然とは思いますが、大幅な減収となってしまいました。令和5年度の決算では、139万円の赤字で前年度からは赤字幅は76万4千円ほど縮小しました。しかし、以前は医師会本体の会計を支えるほどであったことから考えると、まだまだ課題が多いと思います。早めの黒字化が必須と考えています。

看護学校については、総会でも述べさせていただきましたが、全国的に看護専門学校の運営が厳しくなって、閉校するところが増えているのが現状です。これはもちろん18歳人口の減少にもよると思います。それなら看護大学や看護学部はどうなのかと総会前に調べましたが、倍率が1倍ちょっとのところも見受けられました。また全体でも全国の私立大学の約53%が定員割れしている現状もあり、厳しいのは本校だけではないといえます。県立衛生看護学院が横手に移転してからは、秋田市には本校と中通高等看護学院があるのみです。本校の卒業生は、ごく一部は県外に就職しますが大半は市内、県内の医療機関で働いています。看護師の需要というのはみなさんも感じていると思いますが、決して満たされているとは言えないと思います。看護学校運営は、もうしばらく頑張っていきたいと考えています。

今期は、これまでに比べると落ちついて仕事ができそうです。秋田市医師会のため全力を尽くすつもりです。会員の先生方のご協力も、よろしくお願いします。

臨時 理事会

6月8日(土)
午後7時30分
定時社員総会選挙後
秋田キャッスルホテル

出席 湊会長候補者 石川 熊谷 田中 藤
枝 長谷山 及川 濱島 山崎 小松
柴田 三浦 千田 亀岡各理事 木村
議長 鈴木副議長 橋田・向島監事

1 開 会

2 協 議

(1) 会長および副会長の選任について

－会長候補者－

標記の件について協議した結果、会長（代

表理事）に湊元志先生、副会長に石川達哉先生と熊谷肇先生が選定された。湊会長および石川・熊谷両副会長はそれぞれ即時就任を承諾した。

(2) 新執行部役割分担について

－湊会長－

標記について案が湊会長から提示された。変更が必要な場合は、次回理事会までに湊会長まで連絡することとした。

なお、会報編集業務については、医師会事業の円滑な推進のため、小松理事が担当することが了承された。

3 閉 会

一人と社会(環境)の健康を創造する—
—あなたの健康ライフを応援します—

私たちは、県民の健康の管理と保持増進を図るとともに、環境衛生の向上に寄与することを目的に、次の事業を行っております。

(主な事業内容)

健(検)診事業

結核検診、特定健康診査・特定保健指導、事業所健康診断、骨粗鬆症検診、各種がん検診(胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、前立腺がん、子宮がん検診)

学校保健関係(尿検査、貧血検査、心電図検査、脊柱側彎症検査等)
検 査 事 業

臨床検査関係(生化学検査、血液検査、免疫血清検査、微生物検査、病理組織検査等)

食品衛生関係(腸内細菌検査、ノロウイルス検査、食品検査等)

環境管理関係(飲料水水質検査、簡易専用水道検査、浄化槽法定検査、温泉成分分析等)



公益財団法人 秋田県総合保健事業団

秋田市千秋久保田町6番6号

TEL 018(831)2011・FAX 018(831)1663

URL: <https://kenko-akita.jp>

秋田県医薬品卸業協会

会 長 森 元 敦 宏

〒010-0061 秋田市卸町4丁目9番5号(株式会社メディセオ内)
TEL 018(874)7070

株式会社 メディセオ TEL 018(865)0111

株式会社 バイタルネット TEL 018(824)3411

東北アルフレッサ株式会社 TEL 018(862)6666

株式会社 マ ル タ ケ TEL 018(866)6310

東 邦 薬 品 株 式 会 社 TEL 018(823)2366

株式会社 ス ズ ケ ン TEL 018(867)8817

第5回 理事会

6月13日(木)
午後6時45分
秋田キャッスルホテル

出席 湊会長 石川・熊谷副会長 木村議長
鈴木副議長 田中 藤枝 長谷山 及
川 濱島 稲見 山崎 小松 柴田
三浦 亀岡各理事 橋田・向島監事

1 会長あいさつ

今回は役員の改選があり、新体制になってから初めての理事会です。総会でもお話ししましたが、ほとんどの理事の先生方に留任していただき、誠に心強い限りです。ありがとうございました。新任の亀岡先生、平山先生、どうぞよろしくお願いいたします。

2 報 告

(1) 会員の異動について

－濱島理事－

異動 わたなべ あきこ
渡 邊 亜紀子 先生

(秋田鉄道健診センター)

異動月日：令和6年6月1日

異 動 先：秋田健康推進センター

所 属 班：中通2班

異動 つだ あきら
津 田 晃 先生

(山王レディースクリニック)

異動月日：令和6年6月1日

異 動 先：自宅会員（クリニックは休業）

所 属 班：駅東班

(2) 明和会第1回評議員会

－湊会長－

5月27日（月）午後5時30分・ANAクラウンプラザホテル秋田で開催。昨年度の決算、その他報告があり、懇親会が開催された。

(3) 飯牟礼克年秋田市議会議員との意見交換

－田中理事－

5月30日（木）午後6時・御野場たなかレディースクリニックにて、秋田市の子育て政策について意見交換を行った。大変有意義であった。

(4) 第1回学校医心の問題委員会

－稲見理事－

5月31日（金）午後7時開催。学校医心の問題講演会の内容について協議の結果、テーマを「不登校の子どもたち－学校以外の居場所の現状」とし、適応指導教室とフリースクール等の方々から現状をお話いただき、その後ゲストと委員のディスカッションの時間を設けることとした。

開催時期は8月下旬頃を予定、講師の都合を確認し、開催日を決定することとした。

(5) 第1回理事会運営会議

－湊会長－

6月6日（木）午後6時45分開催。案件として1）次期役員業務分担案について、2）臨時理事会について検討した。

(6) 第3回会報編集委員会

－小松理事－

6月6日（木）午後6時45分開催。7月号の巻頭言は次期会長、春夏秋冬は並木龍一先

生の執筆を予定している。

(7) 社保事前指導打合せ

－藤枝理事－

6月7日（金）午後7時

対象医療機関：1 医療機関

上記日時において、対象医療機関の社保指導事前打ち合わせ会を行った。

(8) 第142回定時社員総会

－熊谷副会長－

6月8日（土）午後6時・秋田キャッスルホテルで開催。

出席会員：出席者数（30名）＋委任状提出者数（409名）＝439名

第142回定時社員総会は上記日時に開催された。報告事項として、令和6年度の事業計画および各会計予算、並びに令和5年度の事業報告および公益目的支出計画実施報告について、それぞれ担当役員から説明があった。議事では、令和5年度各会計の決算についてそれぞれ審議が行われ承認可決された。その後、本会役員、秋田県医師会代議員等が選任された。

(9) 東北厚生局及び秋田県による社会保険担当者の個別指導

－藤枝理事－

6月12日（水）午後2時 秋田第二合同庁舎

対象医療機関：1 医療機関

上記日時において、東北厚生局及び秋田県による社保個別指導が行われた。

(10) 秋田県医師会第3回理事会

－石川副会長－

6月12日（水）午後5時・秋田県医師会館で開催。外来感染対策向上加算について、各医療機関において県との医療措置協定の締結をお願いしたい。

報告（19）全国医師会産業医部会連絡協議会について。内容は秋田医報に報告されているので参照いただきたい。

(11) 秋田市難病医療相談会の講師の推薦について

－濱島理事－

秋田市保健所長から依頼の標記について、先の理事会協議に基づき調整した結果、以下により回答したので報告する。

- ①後縦靱帯骨化症：大学病院へ依頼していただくこととした。
- ②網膜色素変性症：早川宏一先生（秋田厚生医療センター）
- ③パーキンソン病：柴田敬一先生（中通総合病院）

3 協 議

(1) 理事業務分担等について

－湊会長－

標記分担（案）が提示され、協議した結果、了承された。

(2) 令和6年度年間行事予定について

－濱島理事－

第142回定時社員総会後、役員改選があったことから改めて今年度の行事予定を確認した。協議の結果、了承することとした。

(3) 秋田市との懇談会の案件について

－濱島理事－

前回の理事会に引き続き、標記の会における新たな案件について協議した。

(4) 秋田県医師会功労者の推薦について

－濱島理事－

秋田県医師会長から標記功労者の名簿(案)の確認依頼があり、協議の結果、修正なしと回答することとした。

(5) 令和6年度秋田県医師会医学奨励賞並びに中村記念賞候補者の推薦について

－濱島理事－

秋田県医師会長から依頼のあった標記について協議の結果、医学奨励賞受賞候補者の名前が挙げられた。本人の意思を確認し、推薦することとした。また、中村記念賞の受賞候補者については次回の理事会で再度協議することとした。

(6) 令和6年度秋田県医師会保健功労者の推薦について

－濱島理事－

標記について協議の結果、候補者が挙がらなかったことから、次回理事会で再度協議することとした。

(7) 令和6年度環境・保健事業功労者表彰(知事表彰) 候補者の推薦について

－濱島理事－

標記について協議の結果、候補者が挙がらなかったことから、次回理事会で再度協議することとした。

(8) 第34回東北作業療法学会への後援及び名義使用の依頼について

－濱島理事－

第34回東北作業療法学会長から依頼のあった標記について協議の結果、後援・名義使用を承認することとした。なお、標記会は7月13日(土)・14日(日)、秋田アトリオンで開催予定である。

(9) 第15回東北精神保健福祉学会秋田大会への協賛及び後援の依頼について

－濱島理事－

第15回東北精神保健福祉学会秋田大会長から依頼のあった標記について協議の結果、協賛・後援を承認し、協賛応援金1万円を支出することとした。なお、標記会は10月6日(日)秋田県総合保健センターで開催予定である。

(10) 会員の入会について

－濱島理事－

勤務 ^{ささ} 笹 ^{はら} 原 ^{もえ} 萌 先生(研修医)

勤務先：秋田厚生医療センター

入会月日：令和6年6月1日

所属班：秋田厚生医療センター班

勤務 ^{やま} 山 ^{もと} 本 ^{しゅう} 柊 ^た 太 先生(研修医)

勤務先：秋田厚生医療センター

入会月日：令和6年6月1日

所属班：秋田厚生医療センター班

4 閉 会